

記入上の注意事項

1. 履歴書

- (1)「履歴欄」は、高等学校卒業以降の学歴、実地修練及び専攻生、研究生などの研究歴を記入して下さい。
- (2)「免許欄」は、免許名のほか取得年月日、登録番号を記入して下さい。
- (3)「学位欄」は、学位名のほか授与された大学名、取得年月日を記入して下さい。
- (4)「加入学会及び役員・評議員等欄」は、現在加入学会と評議員、役員名等を記入して下さい。
- (5)「専門医・指導医等欄」は、認定医、専門医、指導医等を記入して下さい。
- (6)「賞罰欄」は、学会賞受賞等も含めて記入して下さい。
- (7)履歴書においては、西暦は記入せず、和暦を記入して下さい。

2. 教育歴及び教育に関する今後の具体的な目標

これまでの教育歴について、講義、演習、実習、学位指導等の担当及び教育に関する行事への参加等具体的に記入して下さい。

3. 研究実績の概要と今後の具体的な目標

研究歴について、マスメディアに取り上げられたものがあれば、含めて記入して下さい。

4. 診療実績の概要と今後の具体的な目標

診療における実績、専門領域や病院経営面での貢献策など具体的に記入して下さい。また社会貢献活動及びマスメディアに取り上げられたものがあれば、含めて記入して下さい。

5. 臨床研究主要実績

臨床研究実績のうち、社会貢献の大きいもの、また応募者本人が特にアピールしたいものについて具体的に記入して下さい。

6. 外来診療実績

項目に従って記入して下さい。なお、専門的手技に関しては、指導の立場で実施するものを除き、応募者自身が実施するものを記入して下さい。

7. カテーテルインターベンション治療実績一覧表

令和4年4月1日から令和7年3月31日までの過去3年間のカテーテルインターベンション治療の実績について、自ら実施した症例と指導医として携わった症例の件数を、「実施医、指導医」に分けて、年度毎の症例数を記入してください。

8. 業績目録

- (1) 著書、原著、症例報告、総説その他、主要な学会発表（①特別講演(国内学会・国際学会)、②シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ(国内学会・国際学会)、③一般講演(国際学会のみ)）はそれぞれ別葉とし、現在から順に発表年次(西暦を記入)を過去にさかのぼって記載し、番号を附して下さい。
- (2) 著書、原著、症例報告、総説その他については、欧文と和文は別葉とし、必ず最初及び最終の頁を記入して下さい。なお、欧文原著については臨床と基礎を区分して下さい。目安として、研究の対象が患者データであるものは臨床、それ以外の動物実験等は基礎に区分して下さい。また、原著、症例報告および総説その他について corresponding author の論文は「C」印、1st author の equal contribution の論文は「E」印、応募者自身の学位論文は※印で明示して下さい。
なお、原著、症例報告および総説その他にはインパクトファクター(2023年度版)を記入して下さい。特別講演とシンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップは、国内学会と国際学会に分けて記入して下さい。

- (3) 共著論文については、著者名を全員発表どおり記入し、本人名の下に線を引いて下さい。
- (4) 刊行前の論文については、掲載予定証明書のあるものに限り記入することとし、その写しを添付して下さい。
- (5) 所定用紙に、所定の順序により記入して下さい。該当の業績がない場合には、「なし」と記入して下さい。

9. 科学研究費補助金・各種研究助成金等交付状況

- (1) 科学研究費補助金等公的補助金、文部科学省、厚生労働省からの交付状況を現在から順に交付年度（西暦）を過去にさかのぼって記入するものとし、例えば、「研究費の名称」の項目は「文部科学省」「厚生労働省」の別と、「特別推進研究」「新学術領域研究」「学術変革領域研究」「基盤研究(S)・(A)・(B)・(C)」「挑戦的研究（開拓・萌芽）」「若手研究」等種目の別を、また、種目ごとの交付金額(単位：千円)及び代表・分担の別を記入して下さい。なお、複数年度の内定を受けた同一課題は、期間（年度）及び累計金額を記入して下さい。
- (2) その他の各種研究助成金等は、「研究費の名称」の項目に助成団体名を記入して下さい。

10. 産業財産権（特許等）の取得状況

特許に関するものは特許名称、発明者、出願人、出願番号、公開番号、特許番号を記入し、特許以外のものはこれに準じて記入して下さい。

以 上